

Q 地域の名物にする考えは

A 児童会から愛称を考案してもらう

問 阿左美駅前の歩道橋について、名前を付けたり、高さを活かし展望スポットとして地域の名物にする考えは。

総務部長 地域の方々や通学で利用する児童たちに親しまれ、郷土愛が深まるよう笠懸東小学校の児童会から愛称を考案してもらう。

問 阿左美駅ロータリー内には日陰がないため、夏の猛暑対策としてミストシャワーや花壇用の水道栓設置の考えは。

副市長 暑さ対策についてはバスなどの公共交通機関の利用者の増加など状況の変化を見ながら市内他の駅も含め総合的に判断する。

問 令和5年1月25日から試験運行が開始された路線バスの利用状況は。

総務部長 2月14日までの1ヶ月間で343人の利用があり、1日平均では2人強となっている。乗車が多いバス停は大間々駅24人、さくらもーる51人、阿左美駅46人、笠懸庁舎48人で降車が多いバス停は大間々駅88人、さくらもーると笠懸庁舎が60人、阿左美駅が42

藤生 吉顕

864 文字

人となっている。

問 桐生大学の送迎バスの阿左美駅での利用状況は。

総務部長 大学の授業がある日で1日に35人から多い日で50人の利用がある。

問 ボートレース桐生の送迎バスの阿左美駅での利用状況は。

総務部長 1日8本の便があり、1日当たり平均で100人の利用がある。

問 各種バスがロータリーに乗入れる効果と展望は。

総務部長 複数のバスが乗入れる事で鉄道利用と定時路線バスの市内各駅へ結節するルートを活用しながら乗入れ客数を増やす。

問 みどり市は3年後の令和8年に合併30周年を迎え、阿左美駅は4年後の令和9年に開業30周年を迎える。この3～4年間で本市として出来る事は。

市長 タイミングを捉えながら東武鉄道に引き続き要望活動を行い、阿左美駅への特急停車が実現するように、地域と連携し進める。

問 みどり市指定ごみ袋について今後の方向性は。
生活環境課長 中身が見え記名する事でプライバシー保護の面で負担をかけているが、分別の徹底、マナー

の向上、収集処理作業の安全確保、他地区からの持ち込み防止などを熟慮したもので、市民の皆さまに趣旨を理解いただき、ご協力を願っています。